

書道の部

応募作品2,055点

最優秀賞 (1点)

最優秀賞
藤沢市立村岡小学校

さいしょ こはる
最 所 心 遥



優秀賞 (3点)

優秀賞
茅ヶ崎市立東海岸小学校

まちだ
町田

ゆい
結



優秀賞
伊勢原市立桜台小学校

ふじい ゆづき
藤井 結月



優秀賞
南足柄市立岡本小学校

ひとみ はるか
人 見 華 香



入賞 (36点)

入賞
相模原市立南大野小学校

ひとみり
人見莉乃



入賞
相模原市立麻溝小学校

いしざき せな
石崎芹夏



入賞
相模原市立作の口小学校

どいゆいか
土井結夏



入賞
平塚市立港小学校

よしおか りの
吉岡莉望



入 賞
藤沢市立浜見小学校

お お も り は る
大 森 榛



入 賞
小田原市立三の丸小学校

た に か わ み ず き
谷 川 瑞 季



入 賞
小田原市立報徳小学校

お い か わ ゆ ま
及 川 結 舞



入 賞
小田原市立豊川小学校

す が わ ら
菅 原 かるな



入 賞

小田原市立豊川小学校

やまぐち ありさ
山 口 彩莉紗



入 賞

小田原市立町田小学校

ぬがた ここな
額 田 心香菜



入 賞

小田原市立国府津小学校

あだち り の
阿 達 理 乃



入 賞

小田原市立下府中小学校

うづき ひ な
卯 月 日 菜



入 賞
茅ヶ崎市立東海岸小学校

お お の こ
大 野 なな子



入 賞
秦野市立本町小学校

お ざ わ ゆ づ き
小 澤 佐津季



入 賞
秦野市立西小学校

な かつ が わ は ん な
中津川 帆 夏



入 賞
厚木市立小鮎小学校

な る い し お り
成 井 しおり



入 賞

厚木市立厚木第二小学校

せ き ぐ ち か え
関 口 加 恵



入 賞

伊勢原市立桜台小学校

ま ち だ り こ
町 田 凜 心



入 賞

伊勢原市立伊勢原小学校

も り た あ や な
森 田 絢 菜



入 賞

伊勢原市立大田小学校

す や ま ほのか
陶 山 穂



入 賞
海老名市立社家小学校

は ま ぶ ち み つ き
濱 洲 美 月



入 賞
海老名市立杉本小学校

い し ば し と あ
石 橋 永 愛



入 賞
座間市立相模が丘小学校

お く だ り さ
奥 田 莉 紗



入 賞
座間市立栗原小学校

ほ り こ し お お し ろ う
堀 越 大 志 朗



入 賞
座間市立東原小学校

アツエグ ドリス



入 賞
南足柄市立岡本小学校

くまざわ じん
熊澤 迅



入 賞
南足柄市立南足柄小学校

せ と あゆむ
瀬 戸 歩



入 賞
綾瀬市立綾瀬小学校

かわはら あきら
河 原 暁



入 賞
寒川町立旭小学校

だ て さ き
伊 達 咲 希



入 賞
寒川町立旭小学校

す づ き そ う ま
鈴 木 爽 真



入 賞
大井町立上大井小学校

い し い し ゅ う ま
石 井 秀 磨



入 賞
松田町立松田小学校

え ん ど う は る と
遠 藤 晴 人



入 賞
松田町立松田小学校

まつしま あおい
松 島 碧



入 賞
開成町立開成小学校

ゆかわ る な
湯 川 月 葵



入 賞
開成町立開成小学校

とみた あおい
富 田 葵



入 賞
愛川町立半原小学校

いのうえ りょうた
井 上 椋 太



書道の部 選評

今年度の下水道作品コンクール「書道部門」には2,000点を超える応募がありました。コロナを心配してのマスク生活は大分やわらいできたようですが、この夏の酷暑を経験する中、何日か、何度か課題と向き合ったということは、本当に大変なことだったろうと想像しています。それだけに、作品を通してではありますが、みなさんとの出会いを楽しみながら、例年に倣い入賞作品を選び出していました。

そのポイントは、

- ◎ 正しい文字で書けたか
- ◎ 始筆・送筆・終筆はしっかり書けたか
- ◎ 半紙の大きさに合わせて、バランスよく書けたか
- ◎ 大きくのびのびと書けたか
- ◎ 美しい線で力強く書けたか
- ◎ 学校名や氏名もていねいに書けたか

等です。

さて、みなさんは真っ白な半紙を目の前にしたとき、何を考えているでしょうか。そこに筆をおろした瞬間から名前を書き終えるまでの緊張感には、かなり重いものがあります。そこから逃げてはいけません。軽く考えすぎても重くなりすぎてもいけません。落ち着いて作品を仕上げていくためには、課題文字をよく理解しているということが大切です。文字をよくよく見つめ、その一点一画の姿からそれらがどのように組み合わされているか、更に漢字や平仮名の書き方や大きさのちがい、二行書きのときの左右のつり合い、本文と名前の位置など、部分や全体にも気をつける必要が出てきます。これらを自分の力として発揮するためには、何度も練習するということも欠かせません。

今年之最優秀賞や優秀賞に選ばれた作品には、こうした基本的な過程を一步一步真剣にしていねいに歩み、より高い目標を目指して挑戦してきた心の強さも感じられました。堂々としてとても立派な作品です。

書は、日本文化の一つでもあり、大切につないでいきたいものの一つです。今回応募されたみなさんが、パソコンなどで打ち出される画一的な文字ばかりでなく、個性をもった文字表現などにも関心をもち、より興味を広げていていただけたら幸いです。

元横浜市立小学校教諭・(現)書家

齋 藤 菁 芳
(喜久恵)